

第 61 回

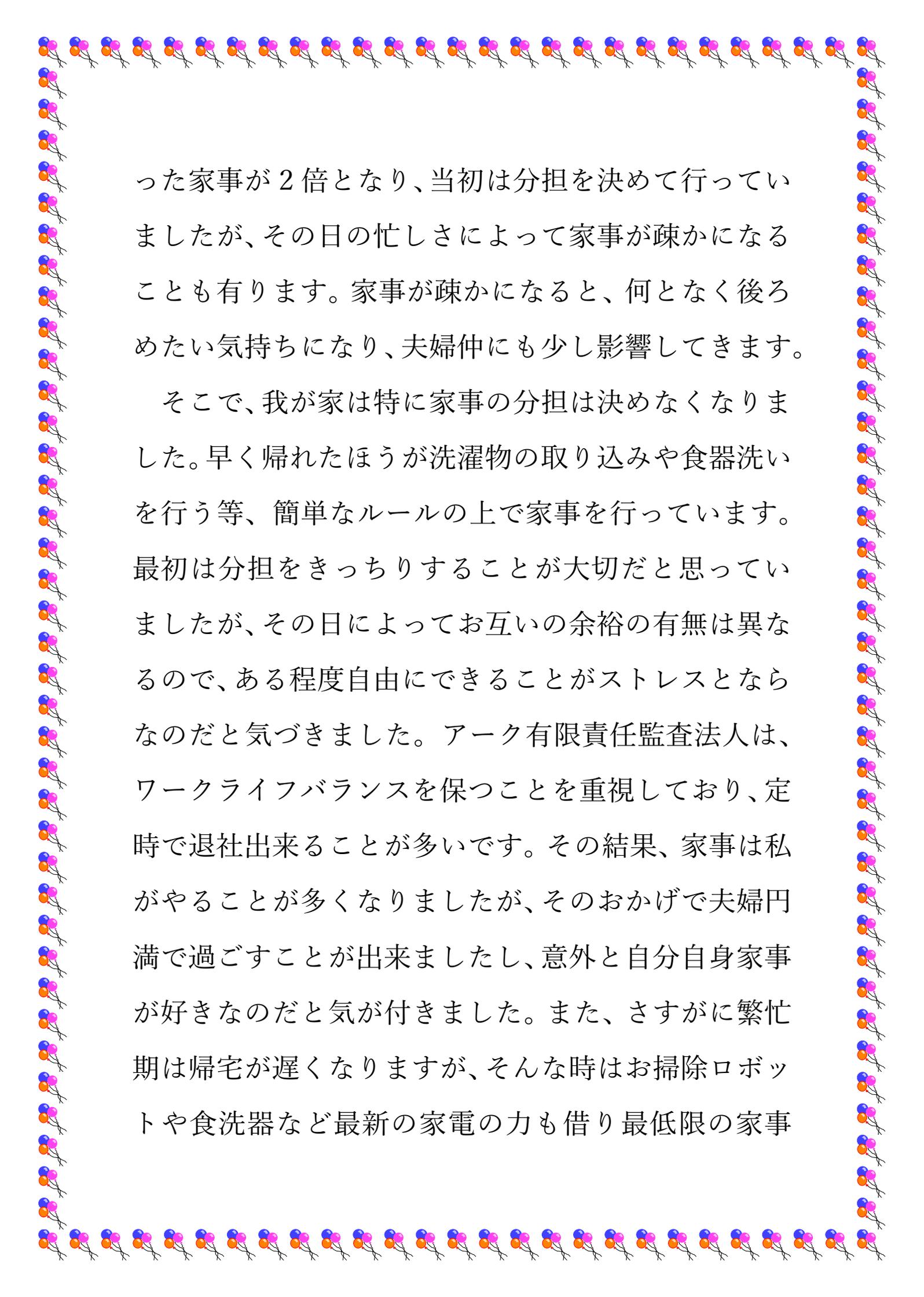
新婚生活との両立①

皆さん、こんにちは。J2のMと申します。今回で2回目となる期末監査が無事に終わりました。話は変わりますが、私は昨年結婚をいたしました。ちょうど1年が経ちました。私達夫婦は、勤め先は違いますが、どちらも監査法人に勤めています。そこで、今回は、監査法人に努めている夫婦の1年間を通じた新婚生活と仕事の両立をテーマとして書かせて頂きます。

「夫婦で監査法人は大変じゃない？」とよく聞かれます。その答えとしては、「大変ですが、思ったよりなんとかなっています。」です。



新婚生活において大変なことの一つとして、家事があると思います。今まで一人分だ



った家事が2倍となり、当初は分担を決めて行っていました。その日の忙しさによって家事が疎かになることも有ります。家事が疎かになると、何となく後ろめたい気持ちになり、夫婦仲にも少し影響してきます。

そこで、我が家は特に家事の分担は決めなくなりました。早く帰れたほうが洗濯物の取り込みや食器洗いを行う等、簡単なルールの上で家事を行っています。最初は分担をきっちりすることが大切だと思いましたが、その日によってお互いの余裕の有無は異なるので、ある程度自由にできることがストレスとならなのだと気づきました。アーク有限責任監査法人は、ワークライフバランスを保つことを重視しており、定時で退社出来ることが多いです。その結果、家事は私がやるが多くなりましたが、そのおかげで夫婦円満で過ごすことが出来ましたし、意外と自分自身家事が好きなのだと気が付きました。また、さすがに繁忙期は帰宅が遅くなりますが、そんな時はお掃除ロボットや食洗器など最新の家電の力も借り最低限の家事

は出来たと思います。

このような感じで新婚生活と仕事の両立は 1 年通して何とかあったという印象です。

同じ監査法人勤務ということで繁忙期はお互いに大変でしたが、その分繁忙期の後はまとまった休みを合わせて取得できるのが監査法人勤務の良いところです。ワークライフバランスが保てたことにより、夫婦円満に過ごせた私たちは、まとまった休みを取得して、新婚旅行で海外旅行を計画しております。

結婚生活だけではなく、ワークライフバランスを大事にしたい方は是非、アークへいらしてみてください。

